

千葉県感染症発生動向調査情報

2020年 第7週 (2/10-2/16) の発生は？

1 定点報告対象疾患(五類感染症)

報告のあった定点数	7週	6週	5週	4週
小児科	18	18	18	18
眼科	5	5	5	5
インフルエンザ*	28	28	28	28
基幹定点	1	1	1	1

上段:患者数

下段:定点当たりの患者数

「定点当たりの患者数」とは
報告患者数/報告定点数。

定点	感染症名	千葉県					千葉県 2/3-2/9 6週
		注意報	2/10-2/16	2/3-2/9	1/27-2/2	1/20-1/26	
			7週	6週	5週	4週	
小児科	RSウイルス感染症		1 0.06	1 0.06	2 0.11	2 0.11	27 0.20
	咽頭結膜熱		2 0.11	3 0.17	3 0.17	4 0.22	41 0.31
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↓	58 3.22	64 3.56	63 3.50	73 4.06	735 5.49
	感染性胃腸炎		69 3.83	128 7.11	138 7.67	118 6.56	805 6.01
	水痘		5 0.28	9 0.50	3 0.17	4 0.22	53 0.40
	手足口病		3 0.17	1 0.06	1 0.06	3 0.17	11 0.08
	伝染性紅斑		0 0.00	1 0.06	3 0.17	5 0.28	21 0.16
	突発性発しん		3 0.17	13 0.72	5 0.28	8 0.44	43 0.32
	ヘルパンギーナ		0 0.00	2 0.11	1 0.06	0 0.00	2 0.01
	流行性耳下腺炎	○	6 0.33	1 0.06	3 0.17	3 0.17	10 0.07
インフル	インフルエンザ(高病原性鳥インフルエンザを除く)		232 8.29	273 9.75	421 15.04	468 16.71	2,239 10.46
眼科	急性出血性結膜炎		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	流行性角結膜炎		2 0.40	1 0.20	1 0.20	3 0.60	12 0.35
基幹定点	細菌性髄膜炎 (髄膜炎菌性髄膜炎を除く)		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	無菌性髄膜炎		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	マイコプラズマ肺炎		0 0.00	0 0.00	0 0.00	1 1.00	6 0.67
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00

★★:流行中 ★:やや流行中 ◎:増加 ○:やや増加 →:変化なし ↓:やや減少 ↓↓:減少

2 全数報告対象疾患(2件)

病名	性	年齢層	診断(検査)方法	病名	性	年齢層	診断(検査)方法
侵袭性肺炎球菌感染症	男性	80歳代	病原体の分離・同定	百日咳	男性	40歳代	病原体遺伝子の検出

*第7週は、 侵袭性肺炎球菌感染症1件(2)、百日咳1件(4)の発生届があった。

※ ()内は2020年の累積件数。但し、累積件数は速報値であり、データが随時訂正されるため変化します。

定点当たり報告数 第7週のコメント

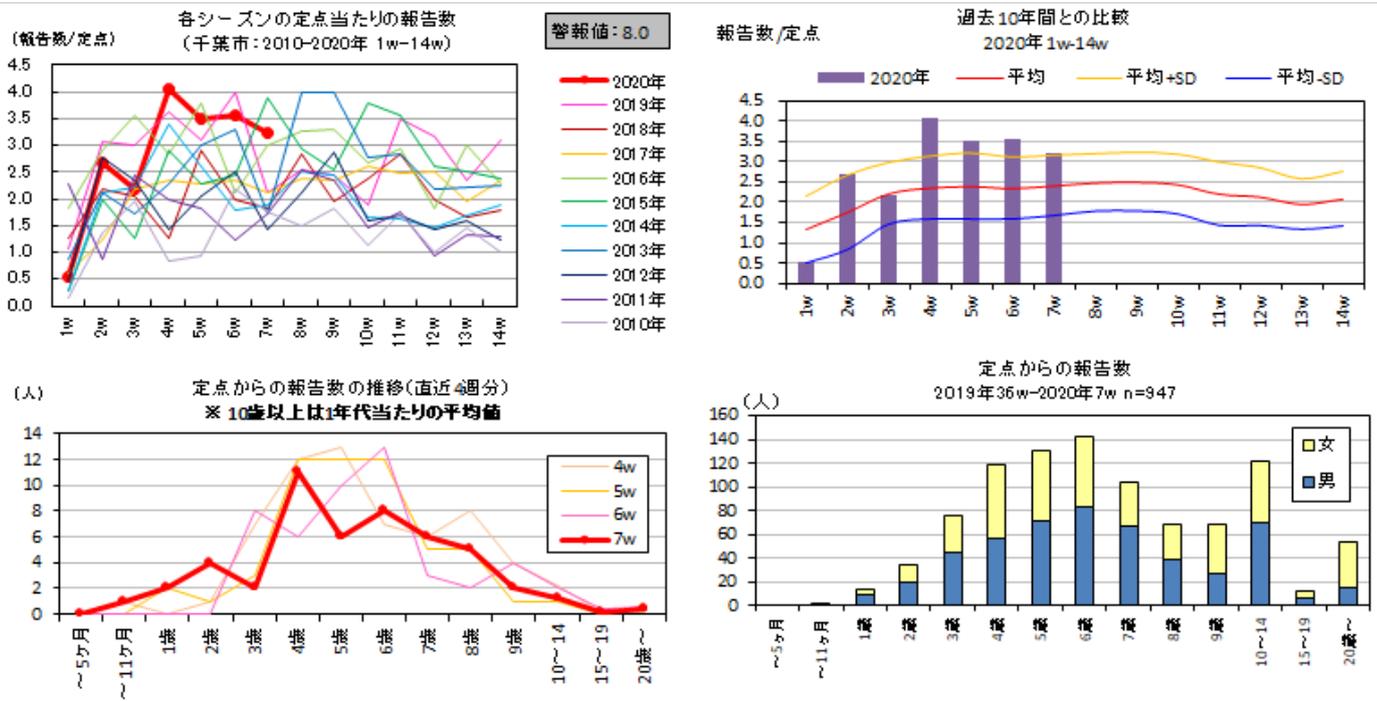
<A群溶血性レンサ球菌咽頭炎> 前週より減少し3.22となったが、過去10年の同時期と比べると多い。

<流行性耳下腺炎> 前週より増加し0.33となった。過去10年の同期と比べると多め。

■ トピック ■

＜A群溶血性レンサ球菌咽頭炎＞

全国レベルの第6週の定点当たりの報告数は3.56となり、過去10年の同時期と比べると最多となっています。都道府県別では石川県、新潟県、福岡県の順で多く報告されています。千葉県の定点当たりの報告数は5.49で、全国レベルと比べるととても多くなっています。千葉市の第7週は前週より減少し3.22となりましたが、過去10年の同時期と比べると多いままとなっています。区別の発生状況は、若葉区(9.00/定点)で流行発生警報開始基準値(8.0/定点)を上回り最多で、同区の4歳で最も多く報告がありました。今シーズンである2019年第36週から2020年第7週までの累積報告数は947件で、性別では男性が53.5%(507名)、女性が46.5%(440名)となっており、年齢階級別では6歳(15.1%:143名)、5歳(13.8%:131名)、10歳代前半(12.9%:122名)の順で多くなっています。



＜流行性耳下腺炎＞

全国レベルの第6週の定点当たりの報告数は0.05で、過去10年の同時期と比べるととても少なくなっています。都道府県別では愛知県、沖縄県、高知県の順で多く報告されています。千葉県の定点当たりの報告数は0.07で、全国レベルと比べると多めとなっています。千葉市では年頭から低い水準で推移していましたが、第7週は前週より増加し0.33となり、過去10年の同時期と比べると多めとなりました。区別の発生状況は、緑区(0.75/定点)で最多で、同区の6歳で多くの報告がありました。2020年第1週から第7週までの累積報告数は14件で、性別では男性が64.3%(9名)、女性が35.7%(5名)となっており、年齢階級別では6歳(31.7%:5名)、5歳及び8歳(共に14.3%:2名)の順で多くなっています。

